

ワシントン駐在 活動記録

平成31年(2019年) 3月16日(土)～3月22日(金)

(1) 米国論文コンテスト表彰式(19日)

沖縄の米軍基地問題を含む、沖縄の課題に対する理解を促進することを目的にワシントン DC 近郊の州またはハワイ州の大学に在籍している大学生、大学院生を対象に、沖縄コレクションと共催で「沖縄県米国論文コンテスト」を開催し、3月19日に表彰式を行いました。

ジョージワシントン大学とハワイ大学の沖縄コレクションを活用した研究が活発になり、相互理解を深めたいと考えております。

- ① 場 所：ジョージワシントン大学図書館
- ② 対応者：ワシントン駐在、ジョージワシントン大学マイクモチヅキ教授、その他審査員、受賞者 等

③ コンテストの概要：

平成30年8月から公募を開始し、10点の論文の応募があった。

大学教授、シンクタンク研究員、日本歴史専門家等5名の審査員により審査が行われ、1位から3位の受賞者が決定され、19日表彰式を行いました。受賞者の論文は、沖縄県基地対策課ホームページで公表する予定です。

④ 表彰者

1位 ヒルソン・リードパス ハワイ大学マノア校

「Passively Passing: Exploring Okinawan identity in the work of Yamanokuchi Baku」

(受動的パッシング: 山之口猥「会話」における沖縄のアイデンティティ)

2位 クリステーション・マリ・インザー リッチモンド大学

「Contesting Japanese Post-War Memory in Modern Okinawan Literature」

(現代沖縄文学に見られる日本の戦争記憶への異論)

3位 宇田川ニーナ ジョージワシントン大学

「The Okinawan Amerasian Identity-A Vanguard for Japanese Multinationals」

(沖縄系アメラジアンアイデンティティ—日本における多文化人材の先駆け)

